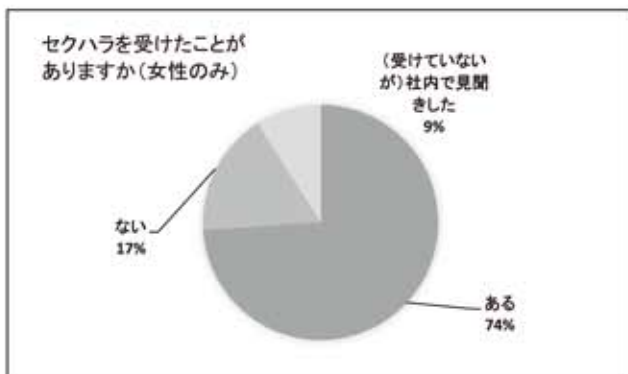


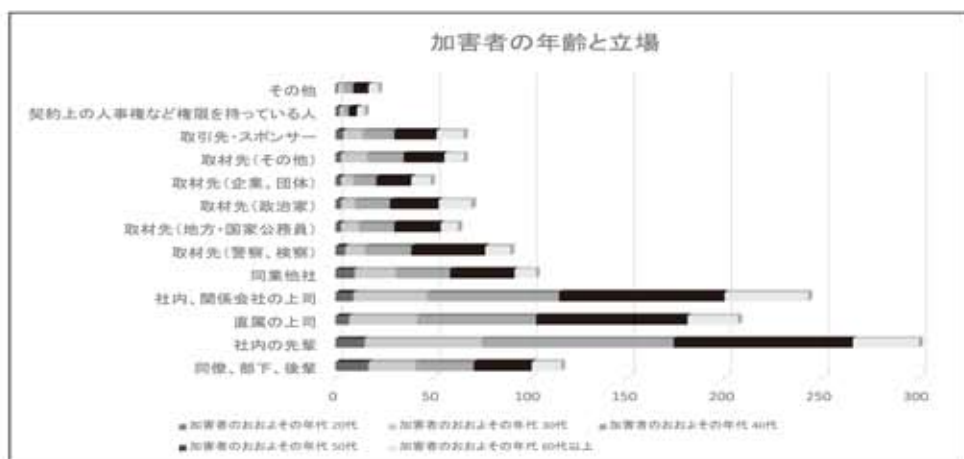
「あなたはセクハラを受けたことがありますか」という質問では、回答者全体では「受けたことがある」割合は47.2%と半数を切るが、女性だけの回答に限ると74%の女性が「受けたことがある」と答えている。

## メディアにおけるセクハラの実態は—?①

### MIC セクシャル・ハラスメント Web アンケート



日本マスコミ文化応報労組会議(MIC)女性連絡会で、セクシャル・ハラスメントに関するwebアンケート調査を、メディアで働く人々を対象に2018年7月18日から8月17日まで行った。このアンケート調査の結果を踏まえて、MICとしての統一要求案について議論を進めることにしている。ここでは集計結果の一部を紹介する。

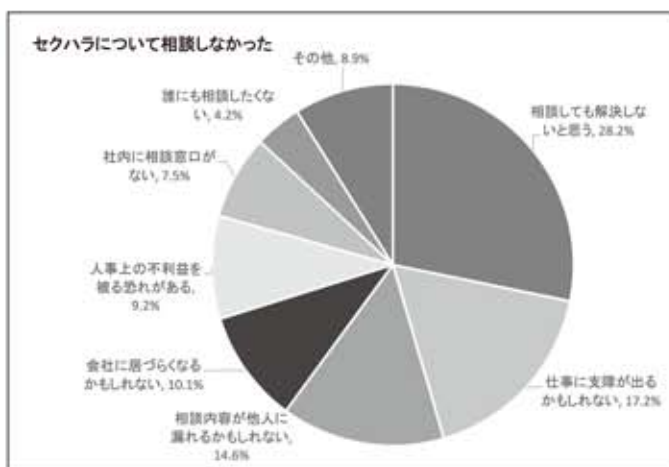


セクハラを受けた人と見聞きした人に、加害者はどのような立場でどれくらいの年代の人だったのか質問をしたところ、最も多いのが「社内の40歳代の先輩」となり、次いで「社内の50歳代の先輩」、「直属ではないが社内、関係会社の50歳代の上司」と続く。「50歳代の直属の上司」や「直属ではないが社内、関係会社の40歳代の上司」も多数。セクハラは、外部よりも内部によるものが多数を占め、先輩や上司など職位的に上の者が行っていることがわかる。

## 民放労連女性協議会 第45回定期大会

女性協議会第45回定期大会を下記の要領で開催いたします。各単組・地連から多数のご出席をお願いいたします。

- 〔日 時〕** 2018年10月6日(土)  
13時30分～17時00分予定
- 〔会 場〕** 全理連ビル 4F 特別会議室  
(東京都渋谷区代々木J R代々木駅前)
- 〔講 演〕** 竹信三恵子さん(和光大学教授)
- 〔議 題〕**
- ①2017年度活動報告及び2018年度運動方針
  - ②2017年度財政報告及び2018年度財政方針
  - ③2018年度役員選出
  - ④各単組報告
  - ⑤その他



セクハラを受けた、見聞きしたという回答者のうち、相談窓口などどこかに「連絡・相談した人」は25.8%、「相談しなかった・できなかった人」は74.2%だった。「相談しなかった・できなかった人」になぜ相談しなかった・できなかったのか理由を聞いてみたところ、「相談しても解決しないと思う」が28.2%と、相談しなかった人全体の4分の1以上が回答した。